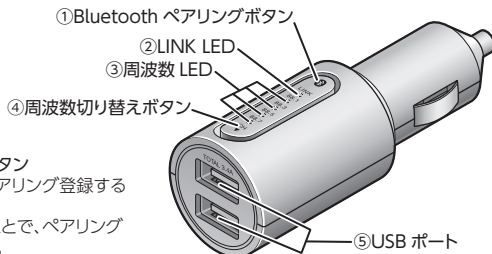


このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
"LAT-FMBT04"シリーズは音源をBluetoothで受信し、FM電波に変換するFMトランスミッターです。
この取扱説明書には"LAT-FMBT04"シリーズの操作方法と安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前に必ずお読みいただき、読み終わった後はご購入年月日が確認できるシートや領収書と共に大切に保管してください。
※ この取扱説明書では一部表記を除き"LAT-FMBT04"シリーズを「本製品」と表記しています。

各部の名称とはたらき



①Bluetooth ペアリングボタン

音楽を再生する機器とペアリング登録するときに使用します。
※ 約3秒間押し続けることで、ペアリング登録モードになります。

②LINK LED

本製品のモードを示す青色LEDです。

モード	光りかた	継続時間
接続機器検索モード	消灯	約3分間
ペアリング登録モード	速い点滅	約3分間
省電力待機モード	遅い点滅	—
Bluetooth接続完了モード	点灯	—

③周波数 LED

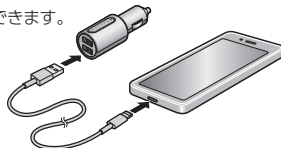
現在選択しているFM電波の周波数を示す赤色LEDです。

④周波数切り替えボタン

押すごとに4つの周波数を順番に切り替えます。

⑤USB ポート

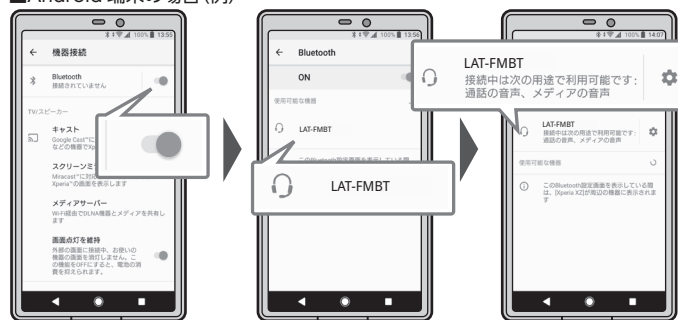
機器をケーブルで接続すると、充電(最大合計 3.4A)できます。
※ 充電ケーブルは付属していません。



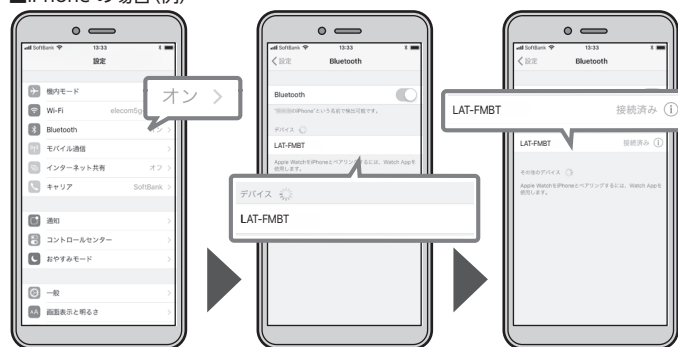
4 接続機器でBluetooth 機器を検索し、「LAT-FMBT」が表示されたら選択します。

パスキーの入力を求めるメッセージが表示される場合は「0000」(ゼロ4つ)を入力してください。

■Android 端末の場合(例)



■iPhone の場合(例)



※ 上記図はあくまで参考例です。メーカーやOSのバージョンの違いなどによって操作が異なる場合があります。操作の詳細は、機器側の取扱説明書を参照してください。

- ・接続機器検索モードとペアリング登録モードは約3分間続き、その間にBluetooth接続またはペアリング登録が完了しない場合は、省電力待機モードに切り替わります。省電力待機モードではLINK LEDがゆっくりと点滅します。
- ・省電力待機モードの状態ではBluetooth接続を行う場合は、接続機器から登録済みの本製品を選択して手動接続してください。また、ペアリングを行う場合は、Bluetoothペアリングボタンを約3秒間押し続けることでペアリング登録モードになります。

5 本製品のLINK LEDが速い点滅から点灯に切り替わると、ペアリング登録とBluetooth接続は完了です。

- ・接続機器によっては、ペアリング後にBluetooth接続操作が必要な場合があります。その場合は、接続機器の取扱説明書をお読みになった上で接続操作を行ってください。
- ・機器の設定や状態などによりペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切り、再度ペアリング操作をやり直してください。

6 自動車のFMラジオを起動し、88.1/88.3/88.5/88.7MHzの中から何も放送を受信していない周波数にチューニングします。

7 周波数切り替えボタンを押して、自動車のFMラジオで選択した周波数に合わせます。

8 接続機器で音楽を再生し、自動車のスピーカーから音楽が聞こえると接続設定は完了です。

音量調節は、基本的に接続機器側で行ってください。ラジオ側だけで音量調節を行うと、ノイズが増幅され音質が劣化します。

- ・2.4GHz帯を使用する無線LAN(IEEE802.11 b/g/n)との併用は電波干渉が発生し、使用できなくなる可能性があります。
- ・本製品を使用して音楽再生中に接続機器のスマートフォン端末などに着信があった場合、音楽の再生がいったん停止し、接続機器から着信音が鳴ります。通話は接続機器側で行ってください。通話を終了すると自動で音楽再生に戻ります。なお、ハンズフリー機器ではありませんので、走行中の通話は絶対に行わないでください。
- ・ペアリング登録が完了しているにもかかわらずBluetooth接続ができない場合は、いったん接続機器のペアリング登録リストから本製品の登録を削除し、再度ペアリング登録をし直してください。
- ・接続設定が完了している状態でBluetoothの接続や切断が行われると、FMラジオのスピーカーからそれを知らせる案内音が流れます。

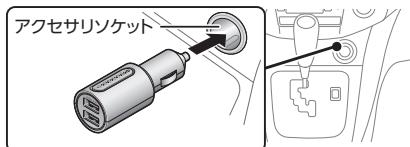
無線に関する注意事項

本製品は2.4GHz帯を使用する無線設備です。この使用周波数帯ではBluetoothのほか、IEEE802.11 b/g/n規格の無線LAN機器や産業・科学・医療用機器、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、及び免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局、及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、使用場所を変更するか、使用を停止してください。
- 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部からの電波が影響し、誤動作や動作停止などを引き起こす可能性があります。
- 電波が機器などに影響を及ぼす恐れがありますので、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。

使用方法(操作手順)

1 本製品を自動車のアクセサリソケットに差し込みます。(接続機器検索モード)



周波数LEDがいずれか1つ点灯します。
LINK LEDは自動接続されるか、待機モードに移行するまで点灯しません。

① 意図しない機器と自動接続される場合は、その機器のBluetooth機能をオフにしてから、再度本製品を差し込み直してください。

2 音楽を再生するスマートフォン端末など接続機器のBluetooth機能をオンにします。

本製品とペアリング登録済みの機器は、自動再接続設定や信頼設定機能が有効になっている場合、この時点で自動接続されます。手順⑥へ進んでください。

- ・本製品とペアリング登録済みの機器が、本製品の周囲で複数同時に動作している場合、直前に接続した機器と優先的に接続します。
- ・過去に本製品とペアリング登録を行ったことがある機器の場合、その登録を消してしまっても、その機器が本製品と最後にBluetooth接続した機器であれば、Bluetooth機能をオンにした時点でペアリング登録を促すメッセージが表示される場合があります。
- ・自動接続は通電のタイミングなどによって、うまく接続できない場合があります。その場合は手動で接続し直してください。

3 本製品のBluetooth ペアリングボタンを約3秒間押し続けます。(ペアリング登録モード)

LINK LEDが速く点滅します。
一度ペアリング登録をすると、その登録を削除するまでペアリング登録の操作(③～⑤)は不要です。

- ・ペアリングしたい機器によっては、あらかじめ機器側で本製品からの通信を許可する操作が必要です。
- ・本製品は8台までのマルチペアリング登録が可能です。ペアリング登録が9台目を超えた場合、古い登録から順に削除されます。ペアリング登録が削除された機器と再度接続する場合は、もう一度ペアリング登録が必要です。
- ・ペアリング登録は、本製品と機器を1m以内に近づけ、途中に障害物がない状態で行ってください。
- ・機器によってはBluetoothペアリングボタンを押さなくても、本製品がデバイス検索画面に表示される場合があります。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

- 運転中に本製品及び接続機器を操作しないでください。運転中の操作は大変危険です。操作する場合は、お車を停車し、周囲の安全を確認してから行ってください。
- 本製品の分解・改造・修理などをしないでください。火災や感電、火傷の危険があります。また、故障の原因になります。また、分解・改造・修理された製品についての責任・保証は、当社では一切負いかねます。
- 本製品を濡らさないでください。火災、感電の恐れがあります。また、故障の原因になります。
- アクセサリソケットに指や物を入れないでください。感電やショートの原因となり、大変危険です。
- 安全のためエアバッグの動作・効果の妨げになる箇所、運転の妨げになる箇所には取り付けしないでください。
- 幼児の手が届かないところで使用、保管してください。本製品には小さな部品が含まれますので、口に入ると窒息などの危険があります。

⚠ 警告

- 絶対に分解・改造は行わないでください。本製品は工事設計認証を受けた特定無線設備ですので、分解・改造を行うことは法律で禁じられております。
- 本製品から異音や煙が発生するといった異常を確認した際は直ちに本製品をアクセサリソケットから抜き、使用を中止してください。
- アクセサリソケットに埃や異物などが入ったまま使用しないでください。通電不良や火災の原因となります。
- ご使用の際は必ずお車のエンジンをかけてから本製品をアクセサリソケットに差し込んでください。また特殊業務用車両などの場合、装置を稼働させながらのご使用はおやめください。火災や本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品は電波を使用している特性上、ある特定の条件下では他の電波を使用する機器と電波干渉を起こす可能性があります。
- 一部車種ではアイドリングストップ機能作動時などに電圧が極端に下がり、本製品が一時的に停止することがあります。そのような場合はアイドリングストップ機能を停止してご使用ください。
- 延長ソケットなどを経由しての取り付けはノイズが生じる場合がありますので、お車のアクセサリソケットに直接取り付けようにしてください。
- 接続機器側のイコライズ機能などは音をひずませる可能性がありますので解除した状態でご使用ください。
- 接続機器の音量が普段お使いの状態のままでは小さくて聴き取りにくくなる場合があります。本製品をご使用の際には都度調整していただき、使用後は元に戻してください。
- 本製品の使用によって接続機器の故障、保存データの破損や消失、及びに通話などの機会を逃したために発生した損害などの付随的保証については当社では一切の責任を負いかねます。必ず各種メモリの控えやバックアップを取ってからご使用ください。
- 使用中は本製品に熱が生じる場合がありますが故障ではありません。お取り扱いには十分ご注意ください。
- 24V 車は車種によって実電圧が 30V 以上の場合があります。そのような車種で本製品を使用しないでください。
- 本製品を長時間アクセサリソケットに差し込んだままにしていると、シガーライター機能が正常に作動しなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を温度や湿度の高い場所や静電気の発生しやすい場所、埃の多い場所で使用、保管しないようにしてください。
- 常にアクセサリソケットが通電している様な車種ではバッテリー上がりの原因となりますので、ご使用にならない時は必ず本製品をアクセサリソケットから取り外してください。
- バッテリー上がりの原因となりますのでエンジンを停止した状態では使用しないでください。
- 充電接続時、起動アプリケーションや機能の使用状況、電池の状態などによって充電時間が長くなる場合があります。また、純正機器と定格出力値が同じ場合でも、厳密な仕様は異なりますので、充電時間に違いが生じる場合があります。
- 本製品はコンテンツ保護規格である SCMS-T に対応しておりますが、接続機器によっては保護音声を再生できない場合があります。
- 充電接続時、消費電力の大きなアプリケーションや機能を同時に使用した場合、接続機器が熱を持つ場合があります。機器によっては発熱することで充電または一部機能を停止することがありますので、その様な場合は機器の温度が下がってからご使用ください。
- 接続機器の電池の劣化により、充電が遅くなったり、充電できない場合があります。
- 接続機器の電池が全く残っていない場合、充電開始まで時間を要したり、充電が開始されない場合があります。充電が開始されない場合は純正充電器をご使用ください。
- 本製品が汚れた際は、水または薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ペンジンやシンナーを使用すると変形、変色する場合がありますのでご使用にならないでください。
- 廃棄に関しましては各自治体の規定に従ってください。

製品仕様

定格入力電圧	DC12/24V
USB合計出力	最大 DC5V 3.4A
使用温度範囲	0 ~ 40℃ (結露なきこと)
保存温度範囲	-20 ~ 45℃ (結露なきこと)
送信周波数	88.1/88.3/88.5/88.7MHz
充電端子	USB Type-A メス 2ポート
通信方式	Bluetooth ver.4.2
使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	GFSK(Gaussian Frequency-Shift Keying)
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護規格	SCMS-T
通信距離	Class 2 最大約 10m(理論値) ※使用環境により短くなる場合があります
マルチペアリング台数	8 台

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465 FAX : 0570-050-012

〔受付時間〕 10:00 ~ 19:00 年中無休

※レシートや納品書などの購入証明書は、ご購入日を証明する大切な書類となりますので保証規定と併せて大切に保管願います。

各種機器との設定方法は えれさぽで検索！

Q えれさぽ

検索



本製品は日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、お問い合わせには日本語によるサポートに限定させていただきます。A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

保証規定

□保証内容

マニュアル文書の記載に従った正常状態で故障した場合には、保証規定内容に基づき修理または交換を無料で致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます。接続した機器などは保証の対象となりません。なお、本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

□保証適用外事項

保証期間内でも以下の場合の修理または交換は有償となります。

1. 購入証明書並びに故障した現品をご提示いただけない場合。
2. 購入証明書の所定事項のみ記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
3. お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
4. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、または異常電圧等により故障、損傷の場合。
5. 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
6. 弊社および弊社が指定するサービス機関以外で修理、調整、改良された場合。
7. マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

□免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の接続した機器の破損、保存データの消失等について保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

Bluetooth-FM トランスミッター LAT-FMBT04 シリーズ 取扱説明書 2018年10月31日 第1版

- 本書の著作権はエレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することは禁止します。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたらエレコム総合インフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の仕様及び外観は製品のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づき輸出または役務取引許可が必要です。
- Bluetooth ワードマーク及びロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- Android、Android ロゴは Google LLC の商標または登録商標です。
- iPhone は、合衆国およびその他の国々で登録されているアップル社の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されます。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。